

令和2年度第2回島根支部評議会議事概要

開 催 日	令和2年10月30日（金）14:00～16:15
場 所	全国健康保険協会島根支部 大会議室
出席評議員	伊中評議員、葛西評議員、鷓鴣評議員、杉原評議員 丸山評議員、光延評議員（議長）、宮本評議員 （五十音順）
オブザーバー	本部企画部安田次長（オンライン参加）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和3年度保険料率に関する論点について 2. 令和2年度島根支部事業推進状況について 3. 令和3年度島根支部独自事業案について 4. 保険者機能強化アクションプラン（第5期）の概要について 5. その他
議 事 概 要 （主な意見等）	<p>【議題1】令和3年度保険料率に関する論点について 資料1、2、3により説明</p> <p>【主な意見】</p> <p>《学識経験者》 新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）の影響で個人も企業も負担が大きいが、将来の状況を考えると、平均保険料率10%を維持することが望ましいのではないかと。 （事務局） 単年度収支ではあるが、中長期的な視点でも考える必要がある。</p> <p>《事業主代表》 今回のコロナのシミュレーションは、想定が甘いのではないかと。</p> <p>《事業主代表》 平均保険料率10%の維持は望ましいが、賃金はすでに下降しているケースもあり、個人的にはこの想定よりも収支がマイナスになる時期は早いと予想する。 （事務局） 見通しが不確実なシミュレーションであるため、今後の状況次第では対応が必要である。</p> <p>《学識経験者》</p>

コロナ禍において、賃金及び医療機関への受診に大きな影響を与えており、後期高齢者支援金や準備金を含めた現行制度の改善が必要ではないのか。

(事務局)

収支均衡のために様々な施策を打つべきだと考えており、現在、本部では医療費適正化に向けてOTC化された医薬品の保険適用除外を求める等、国に対し提言を行っている。また、当支部では、地域の各種協議会への参画を通して医療保険者の立場として制度維持に向けた意見発信を行いたい。

《事業主代表》

収支見通しが不透明な状況で、準備金をいつ使うか、どう使うかがより重要になるのではないのか。

(事務局)

今後の準備金の使い方については、改めて議論の必要がある。

《学識経験者》

保険料率の変更時期について議論する必要があるのか。

(事務局)

保険料率の変更時期によっては、保険料による収支差や事業主、加入者の負担さらには事業所の担当者の事務負担があるため、評議員のご意見をいただきたい。

【議題2】令和2年度島根支部事業推進状況について

資料4により説明

【主な意見】

《事業主代表》

ジェネリック医薬品の使用促進は、初診時に処方される薬をいかにジェネリック医薬品にすることが効果的ではないか。

(事務局)

引き続き、行政、医療提供者側、保険者で協働していきたい。

《事業主代表》

ジェネリック医薬品希望シールや意思表示カードを活用することは、協会けんぽや医療機関、薬局への信頼感に起因するものである。より信頼感を与える情報提供をお願いしたい。

《被保険者代表》

ジェネリック医薬品使用割合が右肩上がりとなっているが、ジェネリック医薬品への切り替えによる医療費への寄与度を教示していただきたい。

(事務局)

追ってお示しする。

《事業主代表》

島根支部は80%を達成しているが、まだ伸びしろはあるのか。

(事務局)

協会における最高位のジェネリック医薬品使用割合は、88.4%であり、伸びしろはある。

《事業主代表》

加入者に対して、医療機関への安易な受診につながらないよう健康増進や自助努力を含めた広報を行っていただきたい。

(事務局)

加入者に上手な医療のかかり方やヘルスリテラシーの向上につながる広報を実施したい。

《学識経験者代表》

ビッグデータをどのように活用していくのか。例えば時間外受診等について受診行動や家族構造などの背景にも焦点をあてると多角的な分析になると考える。

(事務局)

現在は、県が中心となって保険者協議会として医療費および健診データの分析を行っているが、支部しても独自の分析を進めたいと考えている。

【議題3】令和3年度島根支部独自事業案について

資料5により説明

【主な意見】

《被保険者代表》

島根県は少子高齢化が進んでおり、YouTube 広告はどの世代をターゲットとして想定しているのか。

(事務局)

保険者機能強化アクションプラン第5期（案）において、加入者の理解促進のため、SNS等による効果的な広報を新たに取り組む予定としており、当支部としても新たなチャンネルとして取り組んでいきたい。またターゲットは30～40代を想定し、若年期からのヘルスリテラシー向上を目的にしたい。

《被保険者代表》

重症化予防としての未治療者への受診勧奨は、紙では結果に結びついていない印象であるが、来年度はどのような勧奨を予定しているのか。

(事務局)

健診を実施した機関ゆえに保有している電話番号により、電話での直接勧奨を予定している。

《事業主代表》

コロナの影響により、現時点で予定している事業が実施困難となる場合もあり、臨機応変に対応していくことが大切である。

(事務局)

状況を踏まえ、対応していきたい。

【議題4】保険者機能強化アクションプラン（第5期）の概要について

資料6により説明

【主な意見】

特になし

【議題5】その他

《本部・安田次長オブザーバー》

平均保険料率を中心に活発な議論をいただいた。

2025年問題等社会情勢を総合的に捉えながら、いただいた意見を発信していきたい。

本日の議論を通じて、地域の実情に合った議論やアドバイスがされていると感じた。引き続き支部事業に対して積極的なご意見、ご提案をお願いしたい。

特記事項

- ・傍聴者：なし
- ・次回開催：令和3年1月予定